



第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会

子ども・若者参画特別委員会  
(ジュニア・ユースチーム)

第4期生  
活動報告書

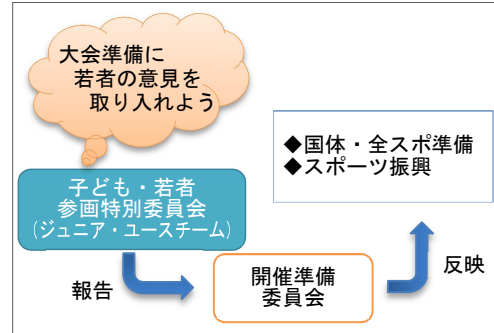
(活動期間:平成29年8月25日～平成30年3月18日)



## はじめに(ジュニア・ユースチームについて)

### ◎設置の趣旨

2024年に第79回国民体育大会(国体)および第24回全国障害者スポーツ大会(全スポ)を本県で開催するにあたり、子どもや若者の視点や発想を両大会の開催準備や県のスポーツ振興に反映させることを目的に、開催準備委員会のもとに「子ども・若者参画特別委員会(通称：ジュニア・ユースチーム)」を設置しました。この活動は国体・全スポを準備する他県にはない滋賀オリジナルの取組です。



滋賀オリジナルの取組

### ◎活動内容

国体・全スポの開催準備やスポーツ振興などの中からテーマを設定し、必要な調査・体験活動を行って、意見をまとめ、開催準備委員会に報告します。

大会を7年後に控えて開催準備が進む中、国体と全国障害者スポーツ大会が滋賀県で開催されることを認知している県民が約3割にとどまるなど、必ずしも両大会が広く認知されているとはいえない状況にあります。

こうしたことから、今期(第4期)のテーマを「大会のPR大作戦」とし、大会マスコットキャラクター「キャプティ」と、新たに「チャプティ」が加わったことも踏まえ、メンバー自身が両大会のPR手法を検討することになりました。検討の結果、PR動画を制作し、県民にアピールしてもらうことで、大会の知名度アップにつなげていくこととしました。

回	内容	日程
1	結団式、仲間づくり活動	8/25(金)
2	PR活動についてのワークショップ TV局(びわ湖放送)での現場体験	9/18 (月・祝)
3	『ご当地キャラ博in彦根2017』でのPR活動見学・調査 PR活動の決定	10/21(土)
4	動画・映像制作にあたっての講義 実現可能なテーマについての意見交換・テーマ決定	11/12(日)
5	PR動画撮影	12/26(火)
6		12/27(水)
7	動画完成に向けての話し合い・制作作業	1/13(土)
8	活動のまとめ	2/17(土)
9	活動報告会、解団式	3/18(日)

### ◎委員の募集

県内に居住、通学・通勤する小学5年生から大学生世代の子ども・若者を募集し、今年度は小学5年生から大学4年生までの31名が活動しました。(p. 14の第4期生メンバー参照)

	小学生	中学生	高校生	大学生	計
男子	7人	1人	2人	2人	12人
女子	6人	6人	5人	2人	19人
計	13人	7人	7人	4人	31人



募集チラシ

## 第1回 結団式・仲間づくり活動・講話

(平成29年8月25日)

会場：びわこ成蹊スポーツ大学(大津市)

### ◎結団式

結団式では、国体・全国障害者スポーツ大会準備室宇野室長から「7年後の滋賀国体・全国障害者スポーツ大会に向け素敵なPRができるように頑張ってください。」と激励があり、その後「子ども・若者参画特別委員会委員」の委嘱状が授与されました。



結団式 委嘱状の授与

### ◎仲間づくり活動

結団式の後には、交流を深めるための仲間づくり活動を行いました。これは1人では解決できない課題を、お互いが支え合ったり、アイデアを出し合ったりしながら協力して克服する活動で、「絶対無理!」と思われた課題も、みんなが協力してクリアし、楽しく活動できました。



仲間づくり活動

### ◎PR方法についてのワークショップ

仲間づくり活動の後には、国体・全国障害者スポーツ大会の概要、ジュニア・ユースチームの概要説明のあと、活動テーマである「大会のPR大作戦」のもと、メンバー自身がやってみたいPR活動について、グループワークを行いました。それぞれのグループから出た案をまとめると、広報誌・新聞などの制作、ポスター・ラッピング制作、動画・映像制作、グッズ製作、ダンス・歌制作、イベント開催、その他の7項目となりました。



PR方法についてのワークショップ

## 第2回 PR活動についてのワークショップ・TV局(びわ湖放送)での現場体験

(平成29年9月18日)

会場：滋賀県庁(大津市)

びわ湖放送株式会社(大津市)

### ◎PR活動についてのワークショップ

午前の活動は、広告やPRプロデュースなどを専門的に行っておられる、コミュニケーション・プランニング～チョコマカ～代表の廣瀬香織さんにお越しいただき、PRとはどういったものなのか?やその効果、キャッチコピーのつけ方等について詳しく教えていただきました。「キャッチコピーや様々な宣伝をするときは、誰に、何を、短い言葉で、強



廣瀬さんによる講話



キャッチコピーをつけるワークショップ

い言葉で伝えてください。」とアドバイスをいただき、その後グループに分かれてキャッチコピーをつけるワークショップを行いました。スポーツの写真やポスターを見ながらグループごとに、PR対象を具体的に設定し、苦労しながらもメンバーの柔軟な発想で様々な意見を出し合いながら、キャッチコピーをつけることができました。

### ◎TV局（びわ湖放送）での現場体験

午後の活動では、びわ湖放送株式会社山口秀富美さんから「テレビの魅力・映像を理解し活用しよう」と題した講義を聴きました。「私たちが住んでいる滋賀県は“電波銀座”と呼ばれていてたくさんのテレビ番組を見ることができること」、「放送では(5W1H)①いつ・②どこで・③誰が・④何を・⑤なぜ・⑥どのようにを伝えることが大切であること」、また「映像を制作するためには監督・カメラ・音声・出演者などの役割があること」などについて教えていただきました。

講義の後、スタジオに移動し、カメラワークについて、視線の方向の空間を空ける、頭の上の空間を空けすぎない、カメラをしっかり止めることが大切など、実際に映像を映しながら教えていただきました。さらには、スタジオセット裏側や、音声や映像を調整・編集する様子を見学したりするなど、貴重な体験もさせていただきました。

また、1回目の活動でPR方法を7項目に整理したものから、実際に私たち自身で行う実現可能なPR方法を決定していくために、メンバーの意向を集約しました。その結果、PR方法はポスター・ラッピング制作、動画・映像制作、グッズ製作、イベント開催の4候補に選ばれました。



山口さんによる講義



スタジオにて

## 第3回 「ご当地キャラ博 in 彦根2017」でのPR活動見学・調査 PR活動の決定に向けた話し合い

(平成29年10月21日)

会場：彦根市夢京橋キャスルロード周辺(彦根市)  
彦根東高等学校(彦根市)

### ◎「ご当地キャラ博 in 彦根2017」でのPR活動見学・調査

午前の活動は、今年で開催10周年を迎えた「ご当地キャラ博 in 彦根2017」のイベントに参加しました。あいにくの悪天候でしたが、総勢159体のキャラが参加しPR活動に励んでいる様子を見学・調査しました。見学活動では、どのようなPRを行っているのか？キャラクターを多くの人に知ってもらうために何を使ってPRしているのか？等をポイントに見学・調査しました。調査活動では、キャラクターが何をPRしている



調査・見学活動の様子

のか？これまでのPR活動で反響が大きかったPRは何か？今のPR方法以外にこんなPRがしたいというものがあるか？という内容について、関係者の方に聞き取りを行いました。

### ◎PR活動の決定に向けた話し合い

午後の活動はこれまでの活動から、ポスター・ラッピング制作、動画・映像制作、グッズ製作、イベント開催の4候補に絞ったそれぞれのPR方法について、①自分たちで考えてできるもの、②限られた日数でできるもの、③チーム全員でできるものという条件のもとで、より具体的に考えを深めていきました。メンバー自身がやってみたいそれぞれのPR方法で実際何がしたいのか？どのような内容のものを制作したいのか？制作するにあたってどのような役割があるのか？について深く考え、グループごとに意見を交換した後、4つのPR候補についてグループごとにプレゼンを行い、最終的にメンバー全員で取り組めることを大切にしたいという思いから、4期生で行うPR活動は「動画・映像制作」に決定しました。



PR候補プレゼンの様子

## 第4回 動画制作にあたっての講義 実現可能なテーマについての意見交換・テーマ決定

(平成29年11月12日)

会場：滋賀県庁(大津市)

### ◎動画制作にあたっての講義

ビデオ撮影や映像制作を専門的に行っておられる、sweettype代表 中村圭吾さんから、専門的な立場からのお話をいただきました。中村さんからは、①より多くの人に両大会を知ってもらうためには、どのような視点で動画を制作したら良いか、②限られた制作期間で、何を意識して制作したら良いか、③メンバーがしなければならないことは何かなどについて動画の実例を交えながら、わかりやすく教えていただきました。



中村さんによる講義

### ◎実現可能なテーマについての意見交換・テーマ決定

その後、「実現可能なテーマについての意見交換・テーマ決定」では、事前に動画制作内容について出し合った意見をふまえ、テーマを「国体・スポーツをメインにしたPR動画」、「障害者スポーツをメインにしたPR動画」、「キャプフィー&チャップフィーをメインにしたPR動画」の3つに決定しました。さらに午前の活動の最後には、1月21日(日曜日)に広島県で開催された、



応援動画の一場面

天皇盃第23回全国男子駅伝に出場する滋賀県チームへの応援メッセージ動画を、キャプフィー・チャップフィーと一緒に撮影しました。いきなりの撮影でしたが、撮影するまでの流れや雰囲気などを経験でき、今後の活動がイメージしやすくなりました。

### ◎第5回・6回の撮影に向けての話合い

午後からは、午前中に決定したテーマごとにチームを編成し、第5回・6回の実際の撮影に向けて、何をしているところを撮るのか？動画の大まかな流れは？どのような物・人が必要なのか？について話合い活動を行いました。

話合いの結果、国体チームでは、未来からのメッセージと題して、国体・全スポに招待する動画を、全スポチームは、パラスポーツの楽しさを伝えると題して、車いすバスケットボールの選手とキャラクターが共演する動画を、マスコットキャラクターチームは、スポーツ三番勝負と題して、滋賀国体・全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクターの「キャプフィー」・「チャップフィー」と彦根市キャラクターひこにゃんがスポーツにチャレンジする動画を制作することとなりました。



話合いの様子

## 第5回・6回 PR動画撮影活動

(平成29年12月26日、27日)

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市)

### ◎PR動画撮影

5回目、6回目の活動は、立命館大学びわこ・くさつキャンパスの施設をお借りして、それぞれのチームの動画を2日間で撮影しました。撮影に先立ち、まず前回の話合いをもとに作成した、絵コンテをチームで確認・修正を行いました。そのあと、出演者やカメラ担当などをそれぞれのカット割りを見ながら、役割分担を行い、撮影に臨みました。

撮影の進行にあたっては、3つのチームが別々に撮影するのではなく、1つのチームが撮影する時には、他のチームもエキストラ、撮影補助などの役割を担うなど、メンバー全員で協力しながら進めていくことを大切にしていきました。

カメラ横には、中村さんにスタンバイしていただき、カメラワークなどのアドバイスをいただきながら、メンバー自身で撮影しました。小雪が舞っている寒い日の撮影でしたが、メンバーで協力しながら撮影を進める中、エキストラとしてもたくさんの方々にご協力していただきました。ありがとうございました。



各チームごとに段取りの確認



撮影の様子

## 第7回 PR動画完成に向けての話合い・制作活動

(平成30年1月13日)

会場：滋賀県庁(大津市)

### ◎動画編集・加工に際して…

撮影した映像を私たちが考えたストーリー順に並び替えた動画を視聴し、編集・加工の作業・追加撮影を行いました。撮影に引き続き、中村さんのアドバイスをいただきながら、よりよい作品となるよう作業を進めていきました。

編集・加工に際しては、①ナレーションは必要か？（どこに入れるのか？）、②字幕スーパーは必要か？（どのような字幕があるのか？）、③効果音、BGMは必要か？（どのような効果音・BGMを入れるのか？どこで入れるのか？）などについて、メンバーで考えました。どのチームも、パソコンの映像を何度も確認しながら、意見を出し合い、その意見や考えをもとに、中村さんからアドバイスをいただいて、形にしていきました。字幕スーパーや効果音、BGMなどを挿入することにより、どのチームも完成型に近づいたことを実感し、活動の最後には、私たちの思いや考えを中村さんに伝え、最終的な仕上げの編集は、中村さんをお願いすることになりました。



グループでの話合いの様子



編集・加工作業の様子

## 第8回 活動のまとめ

(平成30年2月17日)

会場：滋賀県庁(大津市)

### ◎活動のまとめ

PR動画の最終確認を行いました。その後、動画以外の3つPR候補について、第3回の活動時の意見をもとにさらに考えを深め、まとめていきました。そして、最後の活動報告会・解団式に向けての原稿確認を行いました。

## 第9回 活動報告会・解団式

(平成30年3月18日)

会場：コラボしが21(大津市)

### ◎活動報告会

これまでの活動の報告についてはもちろん、メンバーで制作したPR動画の披露も行いました。会場には、西嶋副知事をはじめ、お世話になった方々など約50名の皆さんにお越しいただきました。



会場の様子

## ◆PR動画の紹介

### ☆国体編☆



[URL:https://youtu.be/9YlgRTuuyEM](https://youtu.be/9YlgRTuuyEM)

#### (動画のコンセプト)

スポーツのカッコ良さや楽しさ、様々な種目が、滋賀県開催の国体・全スポで実施されること、2024年に滋賀県民一丸となってみんなを待っているということを伝えます。

#### (ストーリー)

2024年からのメッセージを開いてみると…？スポーツの躍動感、国体で実施される競技の多様さを感じてください。ラストシーンは圧巻です。映像でお楽しみください。

#### (撮影を振り返って)

撮影で苦労した点は、何と言っても、人文字を作るシーンです。人文字にはメンバー以外に100人以上の協力が必要でしたが、撮影当日、大学内のキャンパスには人がほとんどいませんでした。そこで、考えたことは、人文字への協力依頼のチラシを作成し、大学内にいる人に説明しながら協力を仰ぐということでした。大学内にいる人たち一人ひとりにメンバーが、チラシを配って説明していきました。

その甲斐あって、立命館大学陸上競技部のみなさんや、私たちの先輩である第1期生から3期生のみなさんの総勢約150人で人文字を作ることができました。私たち、一人ひとりの力は、微々たるものかもしれませんが、それらを集めていくとこんなにも大きいものになるんだと学びました。やはり、人のつながりは大切なんだと実感しました。



## ☆全国障害者スポーツ大会編☆



[URL:https://youtu.be/OtZGT67XUSE](https://youtu.be/OtZGT67XUSE)

### (動画のコンセプト)

パラスポーツはカッコよく、楽しいということ、人間の可能性は無限大だということを伝えます。

### (ストーリー)

車いすバスケットボールの試合で、終了間際にチャップフィーチームが1点リードした状況から映像がスタート。相手チームの素早いカウンター攻撃を受け、チャップフィーチームがピンチに！試合終了3秒前に、相手チームが、入れば逆転のシュートチャンス！そのあとの結果はいかに？映像でお楽しみください。

### (撮影を振り返って)

ジュニアのメンバーも1名車いすに乗って出演していますが、車いすの扱いが非常に難しかったことが、撮影で苦労した点です。余談ですが、「チャップフィー」を車いすに乗せるのにも苦労しました。

レイク滋賀車椅子バスケットボールクラブのみなさんの、車いすに乗りながらドリブルやパス、シュート、さらには止まったり、方向を変えたり等、自由自在に車いすを操作しておられる姿にアスリートのすごさを実感しました。

## ☆大会マスコットキャラクター編☆



[URL:https://youtu.be/m0yfvJPM0FM](https://youtu.be/m0yfvJPM0FM)

### (動画のコンセプト)

スポーツを通して、勝負に挑む真剣さ、一生懸命勝負した結果、互いの健闘を認め合うスポーツの素晴らしさを、大会マスコットキャラクターの「キャプフィー」と彦根市キャラクターの「ひこにゃん」の3番勝負を通して、ユーモアも交えながら伝えます。

### (ストーリー)

「キャプフィーとチャプフィー」から、「ひこにゃん」のもとに、挑戦状が届きます。そこから、ひこにゃんVSキャプフィーの3番勝負が繰り広げられます。その結果はいかに？是非映像でご確認ください。

### (撮影を振り返って)

撮影で苦労した点は、カメラの角度です。それぞれのキャラクターがよりよく映る角度はどうかなど考え、中村さんからアドバイスをいただきながら、何度もリハーサルを重ねて行いました。

「キャプフィー」も「ひこにゃん」も、勝負に対して真剣に一生懸命取り組んでいる姿や、キャラクターとしてのかわいらしさ、そしてこんなに動けるのだという意外性に驚きながらも、メンバー全員笑顔で楽しみながら撮影を終えることができました。

## ☆総集編☆



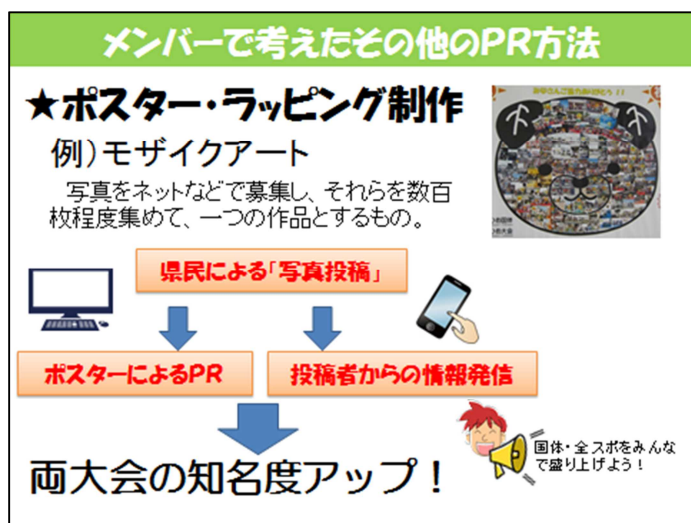
[URL:https://youtu.be/i1STukPygao](https://youtu.be/i1STukPygao)

国体編、全国障害者スポーツ大会編、大会マスコットキャラクター編をまとめた動画です。

いかがでしたが？メンバー全員で意見や考えを出し合い、一生懸命取り組んできた成果です。これらの動画は、国体・全スポ準備室のホームページや、You Tube で公開していますので、是非何度もご覧いただきたいと思います。

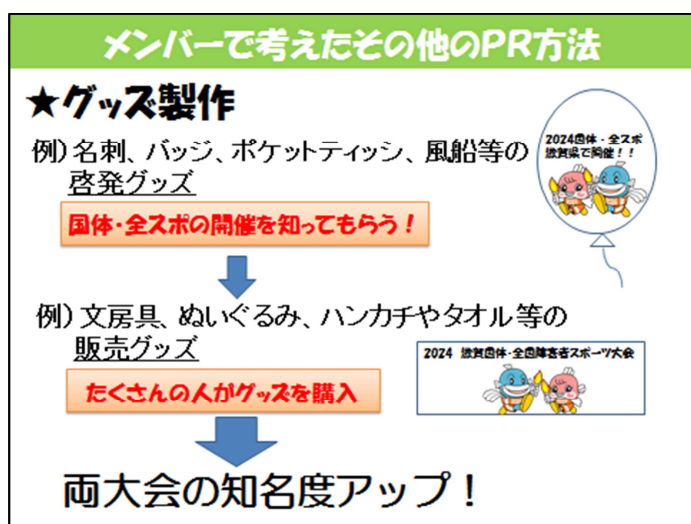
### ◆動画以外のPR候補

今回は、「大会のPR大作戦」を活動テーマとして活動してきました。結果として動画を制作し、披露しましたが、その他にもPR方法についての案が出ていましたので紹介させていただきます。



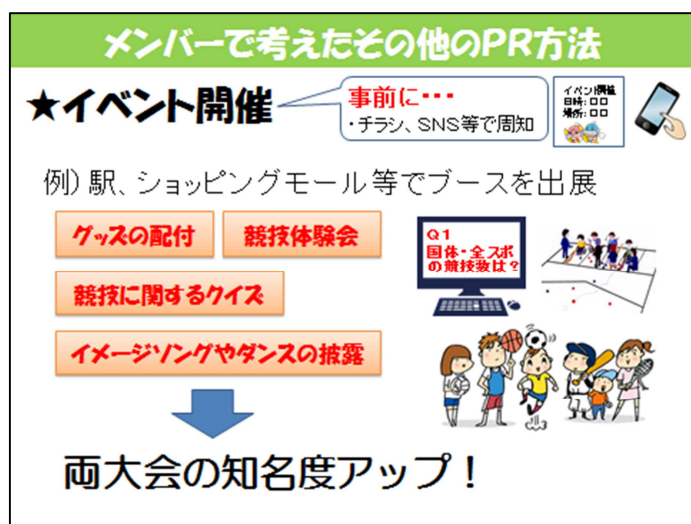
一つ目が、ポスター・ラッピング制作です。単にポスターを作るのではなく、県民のみなさん参加型のものをやってみてはどうかと考えます。その一例がモザイクアートで、写真を数百枚集めて作っていくというものです。当然たくさんの写真を集めなくてはならないので、県内のたくさんの方に、写真を提供して協力していただくことが必要です。裏を返せば、それだけたくさんの方に協力し

ていただけること、よりたくさんの方に国体・全スポについて知っていただく機会となるのではないかと考えます。また、関わっていただいたみなさんからの情報の発信という点も期待できます。そして最終的には、国体・全スポの知名度アップにつながっていくと考えます。また、ポスターとして使うだけではなく、デザインを大きく拡大すれば、電車や、バス、タクシーなどのラッピングとしても活用できると思います。



二つ目が、グッズ製作です。まず、名刺、バッジ、ポケットティッシュ、風船など、比較的安価で誰もが手に取りやすいグッズを製作します。これらのグッズを、イベントや募金の返礼品としてたくさんの人に配ります。そうすることによって、国体・全スポの知名度や認知度があがると考えます。その後、文房具や、ぬいぐるみ、タオルやハンカチなどのグッズを製作し、各種のイベントや、ショ

ッピングモールなどに販売していただければどうかと考えます。つまり、一気にグッズを製作するのではなく、段階的に製作し、PRしていくことによって、県民の皆さんの認知度が上がり、最終的に2024年の国体・全スポが盛り上がると思えます。



三つ目が、イベント開催です。例えば、人通りの多い駅や、ショッピングモールなどで、ブースを出展してPRしてみてもいいと考えました。人が多ければ多いほど、関心を示してくれる方も増えるのでは?と考えたからです。でも、単に人が多いからといって、国体・全スポへの関心が高まるとは考えていません。当然、多くの方に集まっていたらいいように、当日までにチラシを作成して配ったり、SNS

などを利用してできるだけたくさんの方にイベント開催について周知していくことなども必要だと考えています。イベントのブース内では、国体・全スポに関するチラシやグッズなどを配布します。さらには国体・全スポの競技体験会の実施、競技に関するミニ

ゲームやスタンプラリーの実施、イメージソングやダンスなどを考案して披露することなどをおして、県民のみなさんの関心を高めることができるのではと考えました。

### メンバーで考えたその他のPR方法

- ◆ 広報誌や新聞の制作
- ◆ ダンス・歌の制作
- ◆ SNSを使っての情報発信
- ◆ 企業等とコラボした商品の開発
- ◆ 学校で、国体・全スポに関する授業を実施
- ◆ 国体・全スポに関するスタンプラリーや謎解きラリーを実施

その他の案としては、広報誌や新聞の制作、ダンス・歌の制作、SNSを使っての情報発信、様々な分野の企業や関係者とコラボした商品の開発、学校で国体・全スポに関する授業を実施、国体・全スポに関するスタンプラリーや謎解きラリーを実施するなどの意見がありました。

### ◎西嶋副知事より講評（要旨）

皆さん、大変お疲れ様でした。テーマに沿った素晴らしい活動と報告でした。

小学5年生から大学生まで、倍ほど年齢が違う人との活動で、話し合いも普段の学校とは違い、見えない苦労があったと思います。それぞれにお互いを気遣いながら活動してくれたおかげで、こうした幅の広い年齢構成でも活動できたのだらうと思います。

成果物の動画は大変すばらしいものでした。撮影に至るまでのテーマ決定や、シナリオ制作、さらには、撮影後の編集作業など、皆さんの苦労が手に取るように伝わってきました。一つのものを作り上げた達成感を味わえたのではないのでしょうか。

報告の最後には、皆さん自身が情報の発信源となり、多くの人に伝えていきたいという決意も述べられていました。非常に関心しました。

6年後の国体・全スポの開催には、たくさんの方の協力が必要です。皆さんには、その最前線での活躍を期待しています。今回の経験を様々な場面で活かしながら、これからも活躍していただくことを願っております。



西嶋副知事より講話

## ◎解団式

活動報告会に続いて、第4期生の解団式が行われました。

### 1 認定書の授与

解団式では、西嶋副知事から「国体・全スポフレンド\*」認定書が授与されました。

\*国体・全スポフレンドとは、今後の大会準備に関連する活動への参画など、大会サポーターとして関わりを継続してもらうことを期待して認定。2024年には国体の総合開会式に招待する予定。



認定書の授与

### 2 委員代表者のあいさつ 高校2年 奥野 栞児さん

ジュニアユースチーム第4期生を代表し、活動を終えた今の思いを述べたいと思います。

この1年間の活動の中で、国体や全国障害者スポーツ大会について詳しく学ぶことができました。特に印象に残っている活動は、PR方法を動画に決定し、自分たちでストーリーを考え、撮影をしたことです。私は、全スポチームで活動しました。ストーリーを考える際に、障害のある方がどのようにすればスポーツを楽しむことができるのか、また、スポーツをすることの楽しさをどのように伝えたらよいのかをメンバーで意見を出し合いながら活動してきました。

レイク滋賀車椅子バスケットボールクラブのメンバーのみなさんの御協力のもとで行った撮影では、私も車いすに乗って出演しました。私は幼い頃からバスケットボールをしていました。真剣にバスケットに打ち込んでた時期を思い出すと、バスケットをしている時が一番好きで、楽しい時間だったと改めて感じました。高校生となった現在は、以前のように真剣にバスケットをすることがなくなりましたが、今でもバスケットが大好きで、今回活気に満ちあふれた LSB のメンバーの皆さんが、自由自在に車いすを操作されている姿や、メンバー同志とても仲良く、楽しそうにコミュニケーションを取っておられる姿を間近で見ることができたことは、私にとってとても貴重な体験でした。

また、今回、ジュニア・ユースチームの活動に参加するにあたって、スケジュールの調整などで大変な部分もありましたが、普段なかなか接することのできない幅広い年齢層のメンバーと一緒に活動することができ、自分の新たな一面を発見するよい機会にもなりました。

私たちは今後も、国体や全国障害者スポーツ大会の準備活動に積極的に参加したいと思いますし、その際には、今回、学んだことを周りの人たちに少しでもお返しできるようにしたいと思います。

そして、私たち4期生全員での活動は今日で終わりますが、これからもメンバーそれぞれが、それぞれの場所でPR活動を頑張りたいと思います。

最後になりましたが、活動でいろいろな事を教えてくださった皆さん、私たちをサポートしてくださった準備委員会の皆さん、一緒に活動してくれた第4期生のメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

## さいごに

今回、私たちは「大会のPR大作戦」のテーマのもと、様々な活動を行ってきました。PR方法をメンバー全員で考え、意見を出し合い制作した成果物を皆さんに披露できたことに充実感を感じています。私たちが制作したPR動画を、一人でも多くの皆様に見ていただきたいですし、そして私たち自身が情報の発信源となり、今後もPRしていきたいと思えます。

これまでの活動を通して、一つのことを成し遂げた達成感、人と人とのつながりの大切さなど多くのことを学ぶことができました。このような貴重な活動に参加させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。再びこのメンバーで集まり、7年後の国体や全国障害者スポーツ大会に向けて何か協力できればと思います。

ジュニア・ユースチーム第4期生の活動にご協力いただきました関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

### <ジュニア・ユースチーム 第4期生メンバー>

No.	氏名	学年	
1	佐藤 鈴愛	小	5
2	田中 美冬	小	5
3	藤井 康生	小	5
4	北條 陽菜	小	5
5	丸尾 文昭	小	5
6	山田 侑花	小	5
7	生嶋 木葉	小	6
8	佐藤 凜愛	小	6
9	田中 結終	小	6
10	田附 健翔	小	6
11	橋 政博	小	6
12	林 正道	小	6
13	村尾 豪之輔	小	6
14	坂井 花乃	中	1
15	種子田 真湖	中	1
16	堤 真衣	中	1

No.	氏名	学年	
17	北川 千帆	中	2
18	新藤 雪音	中	2
19	濱田 愛朗	中	2
20	奥山 綾香	中	3
21	青山 明日香	高	1
22	板原 瑞月	高	1
23	伊藤愛子ロレイン	高	1
24	中野 竜人	高	1
25	海野 千夏	高	2
26	奥野 拝児	高	2
27	櫻 梨帆	高	3
28	川手隆太郎	大	2
29	山下 友佳	大	2
30	磯山 真子	大	3
31	小西 佑磨	大	4



第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会事務局  
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号  
滋賀県県民生活部スポーツ局  
国体・全国障害者スポーツ大会準備室内  
TEL 077-528-3321  
FAX 077-528-4832